すみだトリフォニーホール開館20周年

今年、開館20周年を迎える、すみだトリフォニーホール。今号4・5面では、このホールを活動拠点とする新日本フィルハーモニー交響楽団との協働による、地域に根ざした取組や、開館20周年を記念して行われる公演をご紹介します。
［問合せ］墨田区文化振興財団音楽事業課 ☎5608－5404

音楽と地域を結びつけるホールとオーケストラ

欧米では、専属の音楽家が活動するホールが多くあり、音楽と地域は密接に結びついています。区は国技館の両国復帰を歓迎する「国技館5000人の第九コンサート」の成功を機に、音楽の力で地域の活性化を図りたいと考えていました。そこで、欧米をモデルに新しい音楽文化を根付かせようと、昭和63年8月、新日本フィルハーモニー交響楽団との間で、すみだを本拠地として音楽活動を展開してもらうという契約を結びました。

そして、平成9年10月、新日本フィルハーモニー交響楽団の活動拠点となる、本格的な音楽専門ホール「すみだトリフォニーホール」が錦糸町に完成しました。

まちに密着したオーケストラでありたい

新日本フィルハーモニー交響楽団　音楽監督　上岡敏之氏

ドイツ在住で、コペンハーゲン・フィルハーモニー管弦楽団首席指揮者、ザールブリュッケン音楽大学指揮科教授を務める上岡敏之さん。平成28年9月、新日本フィルハーモニー交響楽団の第4代音楽監督に就任して以降、「まちに密着したオーケストラでありたい」という想いから、地域に根ざした様々なプログラムを行っています。

－オーケストラが拠点を定めることには、どのようなメリットがありますか。

演奏会をする舞台で練習ができる。こんなに恵まれた環境は他にありません。普通、演奏会の舞台で練習するのは本番2日前～当日だけですから。舞台に行って、思っていた響きと違うと、その場で調整しなきゃならない。僕はそういうのって絶対いいとは思わない。声に魅力がある人って話を聞きたくなるじゃないですか。オーケストラも同じで、いくら間違えることなく演奏しても、音に魅力がなければ、感動には至りませんよね。ここではホールに合った響きをつくることができるし、妥協的な演奏じゃなくて、魅力的な音をどんどん追求することができます。

－なぜ、「地域に密着したオーケストラでありたい」と思われるのでしょうか。

ヨーロッパってみんなそうなんです。まちのオーケストラっていうんですかね。市民は、まちのオーケストラを誇りに思っていて、そしてそのオーケストラは、まちの文化を担っていくんです。

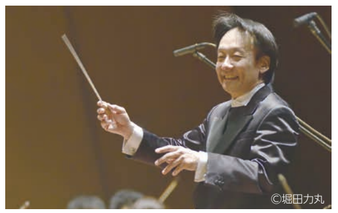
僕は日本には住んでいないですけれども、すみだには、オーケストラとホールがあるんですよね。それがドイツと似ているというか、区民の皆さんと一緒に文化をつくっていけると思っています。それは僕が先頭を切ってどうするということではなく、オーケストラやホールがあること自体、その土壌ができているというわけです。その土壌をもっと豊かにしていきたいなと。

－今後、どういった活動をしていきたいと思っていますか。

例えば、高校の演劇クラブと「ロミオとジュリエット」をやってみたり、「ヘンゼルとグレーテル」の舞台で小学生と一緒に演奏をしてドイツ語で歌ったりしたいですね。もちろん対象は子どもじゃなくてもいいし、本格的なクラシック音楽じゃなくてもいいから、もっと地域に入り込んでいきたいなと思います。

－区民の皆さんへのメッセージをどうぞ。

すみだの皆さんとお会いできるのを楽しみにしています。今まで来てくださった方はもちろん、演奏会にいらっしゃったことがない方にもぜひ、お会いしたいです。



©堀田力丸

新日本フィルの楽団員等が区立小・中学校を訪問し、音楽の特別授業を行っています。

新日本フィルによる、学校の体育館を会場としたオーケストラ・コンサート。地域の皆さんを無料で招待しています。

すみだに暮らす全ての方に音楽を

墨田区文化振興財団は、すみだトリフォニーホールでの主催公演を中心とした事業のほか、すみだの地域に根ざした様々な活動に取り組んでいます。

地域の小学校4年生～高校生による「トリフォニーホール・ジュニア・オーケストラ」が、毎年、未就学児・障害のある方をはじめ、どなたでも入場できる「誰でもコンサート」を実施しています。

新日本フィルの楽団員が障害者福祉施設等で行うコンサートやワークショップ等。ホールで音楽を聴く機会が少ない方にも音楽を届けています。

すみだトリフォニーホール開館20周年記念公演

開館20周年を記念した公演の中から、区民の皆さんに特に聴いてほしい公演を紹介します。

［ところ］すみだトリフォニーホール（錦糸1－2－3）**［申込み］**事前に、トリフォニーホールチケットセンター（すみだトリフォニーホール内）☎5608－1212へ　＊各公演の詳細およびその他の公演については、すみだトリフォニーホールのホームページをご覧ください。

すみだサマーコンサート2017 〝わが街のオーケストラ〟

すみだ少年少女合唱団

毎年恒例のすみだサマーコンサート。今年は、地域との結びつきを大切にしたいという想いから、区内在住在学の小学校3年生～高校生で構成される「すみだ少年少女合唱団」と、新日本フィルハーモニー交響楽団との協演でお届けします。

［とき］7月29日（土）午後2時～**［曲目／出演］**▶アルヴォ・ペルト 子どもの頃からの歌（Songs from Childhood）－少年少女合唱とピアノのための／甲田 潤（指揮）、上岡敏之（ピアノ）、すみだ少年少女合唱団（合唱）▶カール・オルフ カルミナ・ブラーナ／上岡敏之（指揮）、すみだ少年少女合唱団・栗友会合唱団（合唱）、新日本フィルハーモニー交響楽団（管弦楽）**［入場料］**下表のとおり

	S席	A席
一般	5000円	3000円
シルバー（65歳以上）	4000円	－
高校生以下	1000円	
区内在住在勤の方	3500円	－

新日本フィルハーモニー交響楽団

ルビー＜アフターヌーン コンサート・シリーズ＞ リクエスト・コンサート

お客様からのリクエストにお応えするコンサート。初めてコンサートに来る方にも聞きやすい曲を中心とした内容です。

［とき］7月21日（金）・22日（土）午後2時～**［曲目］**パガニーニ ヴァイオリン協奏曲第1番、ベルリオーズ 幻想交響曲**［出演］**上岡敏之（指揮）、戸田弥生（ヴァイオリン）、新日本フィルハーモニー交響楽団（管弦楽）**［入場料］**下表のとおり

	S席	A席
一般	4500円	2000円
シルバー（65歳以上）	3500円	－
学生	2000円	1000円
区内在住在勤の方	3000円	1500円

戸田弥生　©木之下 晃

下野竜也プレゼンツ　音楽の魅力発見プロジェクト第4回 ≪新世界より≫徹底大解剖 オーケストラ付きレクチャー

レクチャー付きコンサートではなく、オーケストラによる演奏付きレクチャー。軽妙なトークに定評のある下野竜也氏が、曲間に楽しい解説をお届けします。

［とき］8月12日（土）午後4時～**［曲目］**ドヴォルザーク 交響曲第9番「新世界より」（演奏とお話）**［出演］**下野竜也（指揮・お話・企画監修）、新日本フィルハーモニー交響楽団（管弦楽）**［入場料］**全席指定3000円　＊区内在住在勤の方は1500円　＊区内在住在学の小学生～高校生は1000円

下野竜也

HP 区ホームページで検索する場合は、「記事のタイトル」で検索

お知らせ　お料理・いただきますのその前に！食中毒予防は手洗いから。　生活衛生課食品衛生係　☎5608-6943

☎＝電話　FAX＝ファクス　✉＝Eメール　💻＝ホームページアドレス